

## 授業科目の概要

【必修，選択必修科目】

授業科目の名称	授業科目の内容	単 位	担当教員
教育実践基礎研究	すぐれた授業実践者の授業観察と授業者を交えた議論を通して，指導技術，授業設計，学校・学級経営について学ぶ。	2	教員全員
教育実践応用研究 A	教育実践基礎研究で培った力を活用しながら，学校支援や協同研究・事例研究に取り組む。(ストレートマスター用)	2	教員全員
教育実践応用研究 B	教育実践基礎研究で培った力を活用しながら，学校支援や協同研究・事例研究に取り組む。(現職教員用)	2	教員全員
教育臨床演習 A	実践者の報告，VTR や実践記録などの具体的事例を活用し，教育学・心理学関係の専門的知見を総合しながら，問題解決のための理念・視点や方法を習得する(1)。	2	コース担当 教員全員
教育臨床演習 B	実践者の報告，VTR や実践記録などの具体的事例を活用し，教育学・心理学関係の専門的知見を総合しながら，問題解決のための理念・視点や方法を習得する(2)。	2	コース担当 教員全員
カリキュラム研究演習 A1	人間の相互理解や自然との共生等についての教材やカリキュラム例，授業実践例を分析し，教科を越えた視点から議論を行う。	2	国(山本一)， 社(村井)， 英(未定)
カリキュラム研究演習 A2	自国の伝統の理解，異文化理解，国際問題の解決等に関する教材やカリキュラム事例を検討し，改善・開発に向けた議論を行う。	2	国(山本一)， 社(村井)， 英(未定)
カリキュラム研究演習 B1	子どもの身の回りの自然や生活，数量を対象にしたカリキュラム例や授業実践例を通して，カリキュラムの分析方法を学び，カリキュラム開発の演習を行う。	2	数(未定)， 理(松原)， 家(綿引)
カリキュラム研究演習 B2	子どもの身の回りの環境に関する課題を対象に，子どもの活用力を育成するカリキュラムについて議論し，開発を行う。	2	数(未定)， 理(松原)， 家(綿引)
カリキュラム研究演習 C1	子どもの身の回りの造形や自然，音，音楽運動を対象にしたカリキュラム事例や授業実践例を通して，カリキュラムの分析方法を学び，カリキュラム開発の演習を行う。	2	音(篠原)， 美(鷲山)， 体(齊藤)
カリキュラム研究演習 C2	子どもの身の回りの造形や自然，音，音楽運動に関する課題を対象に，子どもの活用力を育成するカリキュラムについて議論し，開発を行う。	2	音(篠原)， 美(鷲山)， 体(齊藤)
教育実践発展研究 a	授業やカリキュラム開発，臨床的諸問題など，教育実践に関する自らの研究テーマや課題にもとづいて具体的な授業実践計画を立てる(1)。(現職教員用)	2	コース担当 教員全員
教育実践発展研究 b	授業やカリキュラム開発，臨床的諸問題など，教育実践に関する自らの研究テーマや課題にもとづいて具体的な授業実践計画を立てる(2)。(現職教員用)	2	コース担当 教員全員
教育実践発展研究 a	教育実践発展研究 による授業実践計画を実施し，授業改善についての検討を行い，修了研究報告書を作成する(1)。(現職教員用)	2	コース担当 教員全員
教育実践発展研究 b	教育実践発展研究 による授業実践計画を実施し，授業改善についての検討を行い，修了研究報告書を作成する(2)。(現職教員用)	2	コース担当 教員全員
課題研究 (修士論文指導)	教育実践に関する修士論文作成に向けて，自らの研究テーマや課題について具体的に探究していき，一定の理論的知識を踏まえながら論文執筆のための知識や方法・スキルを身につける(1)。	2	コース担当 教員全員
課題研究 (修士論文指導)	教育実践に関する修士論文作成に向けて，自らの研究テーマや課題について具体的に探究していき，一定の理論的知識を踏まえながら論文執筆のための知識や方法・スキルを身につける(2)。	2	コース担当 教員全員

課題研究 (修士論文指導)	教育実践に関する修士論文作成に向けて、自らの研究テーマや課題について具体的に探究していき、一定の理論的知識を踏まえながら論文執筆のための知識や方法・スキルを身につける(3)。	2	コース担当 教員全員
課題研究 (修士論文指導)	教育実践に関する修士論文作成に向けて、自らの研究テーマや課題について具体的に探究していき、一定の理論的知識を踏まえながら論文執筆のための知識や方法・スキルを身につける(4)。	2	コース担当 教員全員
特別支援教育実践発展研究	現職教員の院生が自らの勤務校において、教育実践に関する自らの研究テーマや課題について具体的に探究していき、一定の理論的知識を踏まえながら高度な実践的思慮・知識や方法・スキルを身につける(1)。 (現職教員用)	2	コース担当 教員全員
特別支援教育実践発展研究	現職教員の院生が自らの勤務校において、教育実践に関する自らの研究テーマや課題について具体的に探究していき、一定の理論的知識を踏まえながら高度な実践的思慮・知識や方法・スキルを身につける(2)。 (現職教員用)	2	コース担当 教員全員
障害児研究法A	障害のある子どもたちの発達に着目して研究を行う際の方法論(文献研究・観察法)について、演習を行いながら学習する。	2	武居 渡 河合隆平
障害児研究法B	学校教育現場等で臨床研究を行う際に必要となる研究法の基礎的・実践的知識の習得を目的に、(1)臨床研究の実施計画や分析手法に関する文献の輪読、(2)大学の教育臨床相談指導事例を行う。	2	小林宏明 大井 学
障害児研究法C	障害児研究法(実験研究)をとおして、実践過程の手続きとその要件を学ぶ。	2	片桐和雄 吉川一義

## 【選択科目】

### 教育臨床コース

授業科目の名称	授業科目の内容	単 位	担当教員
学校教育基礎特論A (教育史)	近代以降の日本の教育の歴史を具体的な問題に即して検討し、教育の現代的課題について考える。	2	鳥居和代
学校教育基礎特論B (教育の哲学と倫理)	教育の哲学・理念や教育観、さらには教育をめぐる倫理・道徳の問題について、社会の変化や学校教育の現実に照らして考察する。	2	松下良平
学校教育基礎特論C (教育社会学)	近年の教育改革に関する社会学的研究に関する文献を精読しながら、教育改革の理念と実態との間の齟齬やズレを解き明かすと同時に、それらが生まれる社会的要因について考察していく。	2	松田洋介
学校教育基礎特論D (生涯学習論)	「生涯学習」に関する基本的な事項について改めて確認するとともに、自治体における生涯学習・社会教育振興計画や市町村民憲章等を検討しながら、生涯学習を推進していく上での課題及びその課題解決について論じる。	2	浅野秀重
学校教育臨床特論A (学校経営学)	教育行政や学校経営に関する諸問題について検討し、「学校運営の型」をめぐる現状や動向について考察する。	2	田邊俊治
学校教育臨床特論B (カリキュラム論)	地球規模の課題に対応した教育理論や実践を検討する。まず、民主主義社会を支える市民育成のためのシティズンシップ教育に関して学び、次に環境問題や南北問題等に対応した各教育領域の理論と歴史、実践を学ぶ。	2	土井妙子
学校教育臨床特論C (授業論)	小中学校の授業を単位時間だけでなく、様々な背景・条件によって成立していることを、子どもの学習状況についての最近のデータから明らかにする。	2	諸岡康哉
学校教育臨床特論D (生活指導論)	学校における子どもたちの生活指導や進路指導などについて、理論的かつ実際に考察する。	2	杉田真衣

学校教育臨床特論E (情報メディア教育)	メディアについての理解と活用力をふまえ、授業実践で活用するための技術・センスを磨き、学校教育に必要な単元を想起し具体化する力、その中に ICT を活用する場面を埋め込む力を育む。	2	加藤隆弘
学校教育基礎演習A (教育史)	近代日本における教師の教育実践、教育経験、教育改革構想などに触れ、歴史の中に生きた教師の事例に学びながら、現代の教職や教師のあり方を展望する。	2	鳥居和代
学校教育基礎演習B (教育の哲学と倫理)	教育の哲学・理念や教育観、あるいは教育をめぐる倫理・道徳の問題を、受講者自身が学校教育の現実と関連づけ、学校の日々の活動の中で省察できるようになるための理論的・実践的活動を行う。	2	松下良平
学校教育基礎演習C (教育社会学)	教育を近代社会に特有のコミュニケーションとして位置づけながら、原理的に考察した理論的文献を講読しながら、教育の社会的規定性をめぐる認識を深めてゆく。	2	松田洋介
学校教育基礎演習D (生涯学習論)	学校と社会との連携・融合の意義、実践事例、期待される効果、課題などを講義、見学、報告、討議等を通じて明らかにする。	2	浅野秀重
学校教育臨床演習A (教育行政学)	学校の教育活動を学校組織および教育制度と関連づけて実践できるようになるための、組織開発の視点や手法を深める。	2	田邊俊治
学校教育臨床演習B (カリキュラム論)	批判的教育研究の理論や歴史を学び、分析視座を得たうえで、日本のカリキュラム編成について考察する。	2	土井妙子
学校教育臨床演習C (授業論)	小学校及び中学校の授業を参観し、その分析・評価を通して今日の授業課題、実践の構想をもつ。	2	諸岡康哉
学校教育臨床演習D (生活指導論)	小学生から高校生までの子どもたちの生活をめぐる学校内外の諸問題や学校における生活指導の諸問題について、実際に調査を行ったり、既存の調査を利用したりして、その分析・考察を試みる。	2	杉田真衣
学校教育臨床演習E (情報メディア教育)	各学校において、各教員が連携して課題に取り組み、各々の授業実践力を高めるための学校研究の進め方や配慮すべき事項、具体的に取り組む際に必要となる手法について実践的に学び、体得する。	2	加藤隆弘
学校心理臨床特論A (カウンセリング論)	心理療法の事例論文を丹念に読み解きながら、洞察的心理療法の基礎理論と解釈の方法論及び夢分析と箱庭療法の技法を学ぶ。	2	萱原道春
学校心理臨床特論B (学校心理臨床実践)	学校教育現場における心理的な問題に対する援助方法(個人カウンセリング、コンサルテーション、チーム援助など)の理論的な背景を学び、それらに関する実践例を検討する。	2	長峰伸治
学校心理臨床特論C (教育相談)	教育相談における基本的な考え方を学習し、教育的課題であるいじめ、不登校、虐待等についての実際的対応について学習する。	2	原田克巳
学校心理臨床演習A (カウンセリング論)	カウンセリング応答技術学習後、受講者の行ったカウンセリング実習レポート(逐語録ほか)に沿って検討する。	2	萱原道春
学校心理臨床演習B (学校心理臨床実践)	学校教育現場における心理臨床実践の実際について、受講者が関わった児童生徒の事例検討やロールプレイなどの体験的学習を通して、援助の方法についてより深く理解することを目的とする。	2	長峰伸治
学校心理臨床演習C (教育相談)	効果的な教育相談活動を行うために欠かせない内省的視点を身につけると共に、事件や事故発生時における緊急対応(児童生徒、保護者、教師に対する心理的支援)のあり方について理解する。	2	原田克巳
学校教育心理特論A (発達心理学)	小・中・高等学校における児童生徒の発達を理解すべく生涯発達の視座に基づく発達の理論・知見を学び、学校教育実践の援助をいかに可能ならしめるかについて、討論と考察を行う。	2	池上貴美子
学校教育心理特論B (社会心理学)	社会心理学の諸理論を基礎として、諸研究を解説し、学校における人間関係や集団過程に関する諸問題を論じる。	2	太田雅夫 (非常勤)
学校教育心理特論C (学習心理学)	教授・学習心理学の基礎をなす認知の過程に関して、認知心理学の立場から概観し、さらに、教授・学習過程に関する心理学研究の最近の展開について論じる。	2	井上 毅 (非常勤)

学校教育心理特論D (教育心理統計法)	統計処理の基礎的な方法について、その理論を学ぶとともに、具体的なデータの分析方法について実習などを通して理解する。	2	金子劭榮 (非常勤)
学校教育心理特論E (学校心理学)	学校教育における児童・生徒を援助するための活動内容、援助提供者としての教師や保護者及びスクールカウンセラーの役割とその連携について理解を深める。	2	八重澤美知子
学校教育心理演習A (発達心理学)	小・中・高等学校における児童生徒の発達を理解すべく生涯発達の視座に基づく発達の理論・知見を学び、学校教育実践の援助を可能にさせる演習を行う。	2	池上貴美子
学校教育心理演習B (学校心理学)	学校教育における児童・生徒援助の活動内容、教師や保護者及びスクールカウンセラー等の役割の明確化と連携、学校教育システムについての検討などを、前期で既習の知識を基に広く国内外の文献を通して理解する。	2	八重澤美知子

### カリキュラム研究コース

授業科目の名称	授業科目の内容	単位	担当教員
国語科授業研究特論	小学校・中学校・高等学校における国語科指導法と教科書掲載教材の解釈・活用について検討するとともに学習者の実態等に合わせて教材を自ら開発し、カリキュラムを編む力をつける。	2	折川 司
国語科授業研究演習	小学校・中学校・高等学校における学力評価について検討する。	2	折川 司
国語科教科内容研究特論A	国文学(近代文学)の研究法、特に作品分析の方法を基礎に、教材研究の方法を中心に論じ、さらに教材開発や発展の工夫についても考察する。	2	前田久徳
国語科教科内容研究特論B	小中学校における郷土文学の扱いの基本と教科書の実態をふまえながら、専門的な知識を身につけると共に、魅力的な授業展開を行うための教材研究の方法を検討し、教材開発や発展の工夫について論じる。	2	森 英一
国語科教科内容研究特論C	国語科の教科内容としての国語学(日本語学)の知識・知見を深めるとともに、それを教育に生かす方策を、具体的な教材の検討を交えつつ考究する。	2	近藤 明
国語科教科内容研究特論D	学校教育における詩歌や古典の扱いの基本と教科書の実態を踏まえながら、魅力的な授業展開を行うために役立つ国文学の専門的な知識を体系的に解説する。	2	山本 一
国語科教科内容研究特論E	「国語の特質」(言語事項)のうち現代語に関する専門知識の充実とことばの教材を扱う能力の向上を図る。	2	加藤和夫
国語科教科内容研究特論F	充実した漢文教育を行う能力を養成するために、中国語の特性・漢文訓読・中国文学史・日本漢文学史に関する理解を深めるとともに、具体的な作品に即して読解のポイントを講義する。	2	矢淵孝良
国語科教科内容研究演習A	国文学(近代文学)における作品分析の方法を基盤にして、小中高等学校における文学教材、評論・説明文に関する教材研究の方法を修得し、授業への実践力と応用力の養成をめざす。	2	前田久徳
国語科教科内容研究演習B	小中学校における郷土文学の扱いの基本と教科書の実態をふまえながら、専門的な知識を身につけると共に、魅力的な授業展開を行うための教材研究の方法を検討し、教材開発や発展の工夫について論じる。	2	森 英一
国語科教科内容研究演習C	国語科の教科内容としての国語学(日本語学)の知識・知見と応用力を深め、教材の活用・開発等にそれを生かす方策を、具体的な教材の検討を通じて探る。	2	近藤 明
社会科授業研究特論	社会科の授業の「おもしろさ」の本質が「意外性」と「ストーリー性」にあることを理解し、どうしたら授業にその要素を盛り込むことができるのか、事前リサーチの方法について学ぶ。	2	村井淳志

社会科授業研究演習	「意外性」と「ストーリー性」のあるおもしろ社会授業プランを、具体的に提示するプレゼンテーションの技法を習得する。	2	村井淳志
社会科教科内容研究特論A	小中高等学校において用いる日本史の資料について、それらの研究方法と学問的研究の現状に対する理解を深め、またそれらを教材として扱う方法に習熟し、教材を開発する力量を身につける。	2	奥田晴樹
社会科教科内容研究特論B	小学校・中学校の社会科および高等学校の地理歴史科における歴史および世界史の資料の扱い方に習熟し、またそれをめぐる学問的研究の現状について理解を深め、児童・生徒の状況に応じた教材を開発する力量を身につける。	2	石黒盛久
社会科教科内容研究特論C	小学校～高等学校の教師力をつける哲学一般のより深い理解を促す。その為に体系的かつ歴史的により詳細に哲学を検討する。	2	未定
社会科教科内容研究演習A	小学校の社会、中学校の社会「日本史及び外国史」、高等学校の地理歴史「日本史」において用いる日本史の資料の内容を研究し、それらを実践に即した教材として開発する力量を身につける。	2	奥田晴樹
社会科教科内容研究演習B	小学校・中学校の社会科および高等学校の地理歴史科における歴史および世界史の資料を用いて、実際に教材を開発する力量を身につける。	2	石黒盛久
社会科教科内容研究演習C	小学校～高等学校の教師力をつける哲学一般のより深い理解を促す。その為に体系的かつ歴史的により詳細に演習形態によって検討する。	2	未定
数学科授業研究特論A	数学科の授業研究に関する国際比較研究を通して、我が国の授業研究の特色を理解する。	2	大谷 実
数学科授業研究特論B	数学の目標、内容、学習指導、評価等について今日的課題を取り上げ、その解決に向けたプロジェクトを立案する。	2	未定
数学科授業研究演習	数学の授業研究では、教師や児童の発話データや書かれた作業等の質的データの分析が必須である。本授業では、数学科の授業の質的データを分析する理論と方法論について概観するとともに、実際の授業の分析を試みる。	2	大谷 実
数学科教科内容研究特論A	「数と式」、「方程式」に関連した代数学理論についての基本的内容を学び、最後に具体的な教科内容とこれらの背景の理論との関連を検討する。	2	山下 浩
数学科教科内容研究特論B	古代から近代、そして現代に至るまでの幾何学の発展の歴史を概観し、特に中等学校教育において指導されている図形と関連した分野の背景となる基本的内容について解説する。	2	長谷川和志
数学科教科内容研究特論C	解析学の基礎事項を学ぶことにより数学の教材研究の向上をめざす。	2	佐藤秀一
数学科教科内容研究特論D	教育に関する情報技術の先行研究の解説、e-Learningを用いた数学教育に関する先行研究の解説、教育実践への展開についての議論を行う。	2	松本豊司
数学科教科内容研究演習A	代数学に関係する算数・数学科教材の数学的基礎理論について演習を通じて、さまざまな具体例を学ぶ。	2	山下 浩
数学科教科内容研究演習B	中等学校教育において指導されている幾何学に関する内容の背景となる専門的かつ基本的事項を修得するとともに、演習を通して主体的かつ豊かな指導力の育成を図る。	2	長谷川和志
数学科教科内容研究演習C	実数の性質、べき級数、一様収束等の解析学の基礎事項を演習により学ぶ。	2	佐藤秀一
数学科教科内容研究演習D	e-Learningに関する基本的事項を修得するとともに、教材作成演習を通して豊かな指導力を養うことを目標とする。	2	松本豊司
理科授業研究特論	理科授業における授業設計、指導技術等について学ぶとともに、授業分析の方法について習得することを目的とする。	2	松原道男

理科教科内容研究特論 A	化学内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	井原良訓
理科教科内容研究特論 B	生物内容(包括的)を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	矢倉公隆
理科教科内容研究特論 C	生物学内容(分類・生態的)を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	川幡佳一
理科教科内容研究特論 D	地学内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	酒寄淳史
理科教科内容研究特論 E	物理内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	辻井宏之
理科教科内容研究演習 A	化学内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	井原良訓
理科教科内容研究演習 B	生物分野の包括的内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	矢倉公隆
理科教科内容研究演習 C	生物学の分類・生態的内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	川幡佳一
理科教科内容研究演習 D	地学内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	酒寄淳史
理科教科内容研究演習 E	物理内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	辻井宏之
音楽科授業研究特論	学習指導要領に基づきながら、小・中・高の音楽科の授業づくりに関して、具体的な教材、授業実践を通して学習する。	2	篠原秀夫
音楽科教科内容研究特論 A	小・中・高等学校における声楽作品の扱いと教科書の実態を踏まえながら、日本語と外国語の歌の違いを考察し、正しい発音と適切な歌唱表現を身につけ、魅力的な授業展開を行うための教材研究の方法を検討する。	2	安藤常光
音楽科教科内容研究特論 B	音楽科教員として必要な、器楽(ピアノ)演奏技術を、バロックから現代までのピアノ作品教材をとりあげ、現代様式及び作曲家固有の様式への考察を通し、その演奏法を研究する。	2	小野隆太
音楽科教科内容研究特論 C	ヴァイオリンの演奏法に関する文献を参考に、児童・生徒の音感発達、身体発達の特徴を捉えた器楽初動指導テキストを試作する。	2	松中久儀
音楽科教科内容研究特論 D	バトンテクニックの基礎力を強化するとともに、音楽科の授業で取り扱われる多様な楽曲を通して楽譜を読み解く力を養う。また、楽曲分析から作曲法を学ぶ。	2	浅井暁子
音楽科教科内容研究特論 E	西洋音楽史、民族音楽、日本伝統音楽の特徴についての知識を豊富にし、音楽教師の資質向上を図る。	2	坂本麻実子 (非常勤)
音楽科教科内容研究演習 A	戯曲や高度な声楽作品を通して、歌唱・合唱指導のための実践的な方法を身につける。	2	安藤常光
音楽科教科内容研究演習 B	音楽科教員として必要な、器楽(ピアノ)演奏技術及び表現法を、バロックから現代までのピアノ作品教材をとりあげ、演奏者の個性、解釈を生かしながら、演奏法を実践的に学ぶ。	2	小野隆太
音楽科教科内容研究演習 C	モーツァルト:「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の演奏事例(CD)比較により、器楽アンサンブルの演奏指導法を探る。	2	松中久儀
音楽科教科内容研究演習 D	学習した理論を基に、楽曲の編曲(伴奏づけ)、作曲(歌曲、室内楽など小編成のもの)を試み、その楽曲を基に、指揮者として表現実践に取り組む。	2	浅井暁子
図画工作・美術科授業研究特論	図画工作・美術科教育の変遷及び今日的課題の議論に基づく図画工作科・美術科授業における授業設計、指導技術等を授業実践を通じて学ぶ。	2	鷲山 靖

図画工作・美術科教科内容研究特論 A	絵画内容を中心に教材の図画的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	大村雅章
図画工作・美術科教科内容研究特論 B	彫刻内容を中心に教材の造形的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	江藤 望
図画工作・美術科教科内容研究特論 C	デザイン及び工芸内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	松浦 昇
図画工作・美術科教科内容研究特論 D	美術理論及び美術史の内容を中心に鑑賞教材の造形芸術学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	宮下孝晴
図画工作・美術科教科内容研究演習 A	絵画内容を中心に教材の図画的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	大村雅章
図画工作・美術科教科内容研究演習 B	彫刻内容を中心に教材の造形的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	江藤 望
図画工作・美術科教科内容研究演習 C	デザイン及び工芸内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	松浦 昇
図画工作・美術科教科内容研究演習 D	美術理論及び美術史の内容を中心に鑑賞教材の造形芸術学的基礎および教材の活用と開発について、演習と実践から学ぶ。	2	宮下孝晴
保健体育科授業研究特論	小・中・高等学校の学習指導法と教材の解釈・活用を検討するとともに、保健体育授業観察を通して、授業設計、指導技術、授業評価するための方策を学ぶ。	2	齊藤一彦
保健体育科教科内容研究特論 A	学校体育で取り扱う運動教材のバイオメカニクスにおける分析法の情報を応用し、効率的な体育科学学習指導を工夫・考案する。	2	山本博男
保健体育科教科内容研究特論 B	体育教材で扱われる各種球技の歴史と競技規則について論ずる。	2	秦 修司
保健体育科教科内容研究特論 C	身体表現に関する最近の文献を講読し、表現運動の分析方法を探究する。	2	吉川京子
保健体育科教科内容研究特論 D	わが国および諸外国における保健・体育の教科制度、教材内容、教員養成制度の成立から現在に至る変遷について学ぶ。	2	大久保英哲
保健体育科教科内容研究特論 E	知覚、認知、感情と運動制御、運動学習との関わりについて学習し、学校体育や運動指導における心理学的アプローチの方法を検討する。	2	村山孝之
保健体育科教科内容研究特論 F	オリンピック大会の理念を通してスポーツの文化的・教育的役割を理解し、学校体育の効果的な指導に結びつける知識やノウハウを修得する。	2	寶學 淳郎
保健体育科教科内容研究演習 A	バイオメカニクスに関する欧米文献の精読を基盤としてプレゼンテーションを行い、そのスキルを高め、さらに体育指導に生かす方法について工夫する。	2	山本博男
保健体育科教科内容研究演習 B	Bernard S.Mason 著書『Active Games and Contests』を講読し、球技の歴史と競技規則について理解を深め、教材開発に結びつける力を養う。	2	秦 修司
保健体育科教科内容研究演習 C	創造的な身体表現を創出させるための支援について、複合的な感性情報の活用という視点からの教材の開発を試みる。	2	吉川京子
保健体育科教科内容研究演習 D	明治期から現在に至る石川県の体育・スポーツの歴史的あゆみとその特質について検討する。	2	大久保英哲
保健体育科教科内容研究演習 E	メンタルトレーニングの最新技法や、その背景にある心理、生理、行動連関を学習し、競技場面や学校体育において活用する方法を検討する。	2	村山孝之
保健体育科教科内容研究演習 F	クーベルタンや最新の諸外国におけるスポーツ教育論を講読し、体育やスポーツの文化が人間や学校・社会に果たす役割について考究する。	2	寶學 淳郎

家庭科授業研究特論	家庭科教育の教育的意味, 教育内容, 授業のあり方, カリキュラム, 今日の課題などについて考察する。	2	綿引伴子
家庭科教科内容研究特論A	被服学の内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について学ぶ。	2	松平光男
家庭科教科内容研究特論B	小・中・高等学校の家庭科・家庭経営領域の内容を追及し, その指導に関わる教材の扱いと活用について学ぶ。	2	尾島恭子
家庭科教科内容研究演習A	被服内容を中心に教材の科学的基礎および教材の活用と開発について, 演習と実践から学ぶ。	2	松平光男
家庭科教科内容研究演習B	家庭科・家庭経営領域での小・中・高等学校における教材活用の現状を踏まえて, 教材の開発・活用について検討する。	2	尾島恭子
英語科授業研究特論	英語科の授業を研究するために必要な「授業構成に関する理論」, 「効果的な授業を行う指導理念」, 「授業の成果を測る理論」について講じるとともに, 授業観察, 授業の研究演習を行う。	2	加納幹雄
英語科授業研究演習	実際に行われる英語科の授業を分析し, 当該する授業改善の提案を行う。	2	加納幹雄
英語科教科内容研究特論A	英語の教科書で扱われている文法事項を取り上げ, 最近の英語学の研究成果や動向などに基づいて検討する。	2	守屋哲治
英語科教科内容研究特論B	教材開発の基礎となる英語力をイギリス文学作品や文化論を通して身につける。	2	山本 卓
英語科教科内容研究特論C	教材開発の基礎となる英語力を英米文学(特にアメリカ文学や文化論)を通して身につける。	2	久保拓也
英語科教科内容研究特論D	外国語教育にとって大切な英語学・応用言語学の知識を深める。様々な習熟度の日本人学習者に効果的な教育の在り方を考える。	2	澤田茂保
英語科教科内容研究特論E	教材開発の基礎となる英語力を英米文学(特にイギリス文学)およびイギリス文化論を通して身につける。テキストの精読と英語によるディスカッションを中心に行う。	2	ピーター・エドワーズ (非常勤)
英語科教科内容研究演習A	英米における学習者向け文法書の体系と日本における学校文法との体系を比較し, 日本における文法の取り扱い方の問題点・改善点などを英語学の視点から考究する。	2	守屋哲治
英語科教科内容研究演習B	イギリス文学の内容を中心に取り扱い, 英語教育において有用な教材の活用方法と開発について, 演習と実践から学ぶ。	2	山本 卓
英語科教科内容研究演習C	英米文学(特にアメリカ文学)の内容を中心に取り扱い, 英語教育において有用な教材の活用方法と開発について, 演習と実践から学ぶ。	2	久保拓也
英語科教科内容研究演習D	英語学・応用言語学上の知識を踏まえて, 言語材料の収集から教材作成の一連のプロセスなどを学ぶ。	2	澤田茂保
英語科教科内容研究演習E	異文化理解(主にイギリスにおける芸術のありかた)の内容を中心に, 英語教育において有用な教材の活用方法と開発について, 演習と実践から学ぶ。	2	ピーター・エドワーズ (非常勤)



特別支援教育コース

授業科目の名称	授業科目の内容	単位	担当教員
特別支援教育特論	障害児教育学(特別支援教育学)を構成する学問諸領域について構造的かつ歴史的に理解する。	2	河合隆平
聴覚障害教育学特論	言語獲得にかかわる本を輪読し、障害のない子どもの言語発達について概観する。その上で、聴覚障害児の手話獲得、日本語習得支援の在り方について議論する。	2	武居 渡
障害児福祉教育特論	特別支援教育と障害児・者福祉の連携課題について、ライフステージごとの生活問題と福祉実践の検討を通して把握する。	2	河合隆平
障害児心理学特論A	肢体不自由と知的障害児に対する各指導法の根拠となる心理学研究の知見を学び、批判的検討を加えながら指導法を構築する上での課題を明確にする。	2	吉川一義
障害児心理学特論B	学習障害(LD)を中心とした軽度発達障害の心理機能特性を理解し、特別支援教育の概念を踏まえて個人に最適な教育支援方法を習得する。	2	三橋美典 (非常勤)
発達障害指導法特論	コミュニケーション困難に対応する技法として INREAL をとりあげ、INREAL の理論的背景、技法の詳細と実施法の基礎を習得する。	2	大井 学
言語障害指導法特論	障害がある児童生徒の指導法について、主に言語・コミュニケーション障害(吃音、構音障害、自閉症等)に焦点をあてて論じる。	2	小林宏明
知的障害機構特論	脳障害は個体発生の各ステージにおいて人間発達と自己実現に多様な影響を及ぼす。本授業では、生物学的要因としての脳障害が機能としての知能の障害を引き起こすメカニズムを脳科学における研究成果をもとに検討する。	2	片桐和雄
特別支援教育演習	特別支援教育における教育の専門性について、具体的な学校教育実践および援助・相談事業の検討を通して把握する。	2	河合隆平
聴覚障害教育学演習	聴覚障害教育の中で新たな動向として注目される、手話と音声言語を同時に学んでいくバイリンガル教育を取り上げ、北欧やアメリカにおける聴覚障害児のバイリンガル教育について検討を行う。	2	武居 渡
障害児心理学演習A	知的障害、並びに肢体不自由教育の発達と指導法に関する研究論文をもとに、教育支援計画・指導計画・授業案の有機的連関過程とこれを総括する教育課程の在り様を検討する。	2	吉川一義
障害児心理学演習B	軽度発達障害がある複数事例をもとに、個人の生活環境要因と心理機能特性を精査して教育実践を設計していく過程に即して必要な判断や手技を習得する。	2	三橋美典 (非常勤)
発達障害指導法演習	INREAL の実践に参加することを通じて高度に実践的な技能を養成し現場での実施を可能とする。	2	大井 学
言語障害指導法演習	障害がある児童生徒の指導法について、主に言語・コミュニケーション障害(吃音、構音障害、自閉症、知的障害等)に焦点をあてて、その病理と指導法についての研究論文等を輪読する。	2	小林宏明
知的障害機構演習	重篤な脳障害に起因する重い運動機能障害を合併する知的障害に関する多水準的評価・診断法を理解し、それによって得られる所見にもとづく支援の方策をケース・スタディをとおして実践的に考察する。	2	片桐和雄
障害児臨床実習	特別支援学校、小中高等学校及び大学の相談室、医療機関、NPO 法人などにおいて子どもの臨床的な観察と指導を、特定事例につき長期的継続的に実施するか、あるいは短期的に多数事例に実施することで、臨床教育的な感受性と実践性を養う。	2	大井 学 小林宏明 吉川一義 武居 渡